

50 years

アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター 創立50周年記念シンポジウム

選ばれる日本語

「外国人プロフェッショナル」のまなざし

■ 2013年 12月7日(土) 14:00~16:30 (13:30開場)

■ 横浜市開港記念会館 講堂(横浜市中区本町1-6)

入場
無料

基調講演講師

猪木武徳

経済学者、国際日本文化研究センター名誉教授・前所長



京都大学経済学部卒業、マサチューセッツ工科大学大学院博士課程修了。大阪大学教授・同学部長を経て、国際日本文化研究センター教授および同所長。2012年の退任まで日本研究の支援と日本理解の促進に尽力する。2012年4月より青山学院大学特任教授。サントリー学芸賞、日経・経済図書文化賞を受賞した「経済思想」や「大学の反省」など著書多数。2002年紫綬褒章受賞。

パネルディスカッション・パネリスト

ピーター・イエガー

バンクオブアメリカ・メリルリンチ マネージング・ディレクター



ニューヨーク出身。コロンビア大学卒業後、文部省招待研究生として東京外国語大学の特設日本語学科を修了。翻訳・通訳者として活躍後、金融界に進出。JPモルガンのロンドンと日本の先物部長を歴任。2012年よりバンクオブアメリカ地域統括責任者、外国人初の東京商品取引所外部取締役。日本語でのビジネス歴35年。1981-82年にアメリカ・カナダ大学連合日本研究センターで日本語を学ぶ。

パネルディスカッション・パネリスト

マイケル・フォスター

民俗学者、インディアナ大学民俗学科及び東アジア言語文化学科准教授



ニューヨーク出身。カリフォルニア大学バークレー校で修士号、スタンフォード大学で博士号を取得。妖怪や奇異現象に関する研究を専門とし、祝祭・儀式と観光・メディアとの関連に関心を寄せている。シカゴフォークロア賞、フルブライト賞受賞。現在、国際日本文化研究センター外国人研究員として京都在住。修士号取得直後の1995-96年にアメリカ・カナダ大学連合日本研究センターで日本語を学ぶ。

パネルディスカッション・パネリスト

ロバート・キャンベル

日本文学研究者、東京大学大学院総合文化研究科教授



ニューヨーク出身。カリフォルニア大学バークレー校卒業、ハーバード大学大学院博士課程修了。国立・国文学研究資料館、東京大学大学院の助教授を経て、2007年より現職。日本文化への造詣が深く、江戸・明治文学を教える傍ら、新聞・雑誌の連載やテレビ番組にコメントーターとして出演するなど幅広く活躍。大学在籍中の1979-80年にアメリカ・カナダ大学連合日本研究センターで日本語を学ぶ。

パネルディスカッション・パネリスト

カート・トン

外交官、在日米国大使館臨時代理大使



オハイオ州コロンバス出身。プリンストン大学卒業。東京の民間企業で勤務の後、1990年米国国務省に入省。アジア各国で米国大使館員を務め、東アジアでの勤務及び研究活動は17年に及ぶ。アジア太平洋経済協力(APEC)担当大使を経て、2011年12月から在日米国大使館首席公使、本年8月12日より現職。大学在籍中の1985-86年にアメリカ・カナダ大学連合日本研究センターで日本語を学ぶ。

パネルディスカッション・パネリスト

ジェニファー・マーテンス

Talent2Tokyo シニアコンサルタント



ニューヨーク出身。ジョージタウン大学卒業、ヴァージニア大学とカリフォルニア大学アーバイン校で修士号取得。大学卒業後、JETプログラムで海外指導助手として2年間を青森で過ごす。アーバイン校で日本語講師を務めた後、翻訳者・編集者を経て、現在はバイリンガルのリクルーターとして活躍中。大学院在籍中の1998-99年にアメリカ・カナダ大学連合日本研究センターで日本語を学ぶ。

アメリカ・カナダ大学連合日本研究センターは、1963年の開校以来、50年にわたる上級日本語教育を通じて、日本と世界との関係に貢献する人材を養成して来ました。創立50周年を記念して開催するこのシンポジウムでは、様々な専門分野において高度な日本語を駆使し、外国人プロフェッショナルとして活躍している当センターの卒業生をパネリストに迎え、今後あるべき上級日本語教育の姿、そしてそこから見える言語観の変化や、世界の中の日本語・日本の今後について考えます。(使用言語：日本語)

主催：アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター

助成：独立行政法人 国際交流基金

後援：外務省／アメリカ大使館／横浜市／横浜市教育委員会／公益社団法人 日本語教育学会／朝日新聞社

協力：日本航空／ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル

お問い合わせ

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 バシフィコ横浜 横浜国際協協センター 5F
TEL.045-223-2002 FAX.045-223-2060 E-MAIL iuc@iucjapan.org

©申込方法については裏面をご参照ください。

IUC
横浜

as a Language of Choice
JAPANESE

50
years

JAPANESE
as a Language of Choice

Facsimile
045-223-2060

アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター(Inter-University Center for Japanese Language Studies)は、学術・専門の分野においても対応可能な日本語を習得させることを目的に、中・上級レベルの日本語集中教育を行う機関です。日本語力及び専門分野における将来性の審査などにより選考された大学院生を主な対象に、上級レベルの技術を身につけさせ、専門分野の研究や業務が十分に行えるよう訓練しています。学生の国籍は北米を中心に欧州、アジア等様々で、機関の名称は、1963年の創立当時に日本研究が盛んであったアメリカとカナダの10大学により本校が設立されたことに由来しています。現在はアメリカの15大学(ブリガム・ヤング大学、コロンビア大学、ハーバード大学、インディアナ大学、オハイオ州立大学、プリンストン大学、スタンフォード大学、カリフォルニア大学バークレー校、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、シカゴ大学、ハワイ大学、イリノイ大学、ミシガン大学、ワシントン大学、イエール大学)が共同で運営しており、スタンフォード大学が管理にあたっています。既に2,000名を超える本校の卒業生は、北米のみならず、世界中で日本研究者や政府関係者、実業家として、日本関係のあらゆる分野で活躍しています。

アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター 創立50周年記念シンポジウム

選ばれる日本語

入場
無料

「外国人プロフェッショナル」のまなざし

■お申込み方法

入場ご希望の方は、必要事項(お名前/郵便番号/ご住所/ご職業/TEL/FAX/E-mail)をご記入の上、下記のいずれかの方法でお申込みください。申込み受付後、参加証を発行いたしますので、当日ご持参ください。

ファックス : 045-223-2060 e-mail : iuc@iucjapan.org

郵便 : 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 5F
アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター 50周年シンポジウム事務局

申込締切 | 11月20日(水) ※定員になり次第、受付を終了いたします。あらかじめご了承ください。

▼ファックスでお申込の方は、下記にご記入の上、この用紙をFAX番号 045-223-2060 宛にご送信ください。

ふりがな
お名前
ご住所 〒
ご職業
TEL ()	FAX ()
E-mail	@

シンポジウム会場のご案内

横浜市開港記念会館 講堂(国指定重要文化財)

住所: 神奈川県横浜市中区本町1丁目6番地
TEL: 045-201-0708

- みなとみらい線日本大通り駅 1番出口より徒歩1分
- JR京浜東北線・根岸線 関内駅南口より徒歩10分
- 横浜市営地下鉄関内駅 1番出口より徒歩10分

